

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュースNo.20

新しい年を迎える1ヶ月が過ぎましたが、今年もよろしくお願い申し上げます。

平成16年1月から事業を始めて5回目の新年を迎えました。3月29日には地域の皆さんと一緒に5周年のお祝いを開きます。みなとお会いできるのを楽しみにしています。

今年の課題は「丸5年の年月を振り返り、今後の課題と目標を明確にすること」です。昨年から事務局の効率化と任務分担で事業所全体の事務・施設・設備・各種制度・経理・防災等などの管理体制を整えています。



昨年11月の臨時総会でご承認いただいたガイドヘルパー養成研修を新年度から開始することになります。障害者への外出支援について、実技も含め充実した内容でベテランの講師陣を迎えて行います。2級ヘルパー以上の有資格者が対象になりますが、ご家族の介助のために受講したい方があれば事務局までお問い合わせ下さい。

理事長 上野登志子

居宅介護支援事業所

昨年5月からケアマネとして共に仕事をしてくれていた気鋭の國廣さんが12月末で退職されました。一人ぼっちになってしまって私は寂しいやら、忙しいやらで慌ただしい毎日を送っています。

寂しいと言えば、年末年始にAさん（97歳）とBさん（80歳）のご利用者が旅立たれました。Aさんのご家族は「入院させずにずっと家で過ごさせてやれて良かったと思っています。本人も満足していますよね？」と悲しみの中にも安堵の表情でおっしゃいました。

Bさんは自力では何もできなくなり全身に強い痛みが出現してからも「お風呂に入りたい」「リハビリを続けたい」と望まれました。看護師二人での入浴介助も無理な状態になられたので自室に浴槽を運んでの訪問入浴に変更して、ベッド上での訪問リハビリも続けてもらいました。また、ストレッチャーを利用しての通院が困難になった時点では在宅ホスピスを導入しました。



亭主関白なBさんは、献身的に介護される奥様には最後まで我儘をおっしゃり最期までBさんらしい時間を過ごされたと思います。亡くなられる前に「“世話になったなあ、ありがとう”と言ったのですよ。今まで私にはありがとうなんて一度も言ってくれたことないのに」と奥様がしみじみとおっしゃったのが印象的でした。

末期がんという状態になったときでも、自分の過ごしたい場所を考えた時に“住み慣れた自宅で”という選択をされる人も少なくはないでしょう。そう考えられた人や家族に寄り添いながら支えていくのが在宅ホスピスいわゆる緩和ケアなのです。

NPO 法人
「三郷サンサンハウス」
三郷町三室2丁目5-22
Tel/0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
理事長 上野登志子
2009.2.12

医師、看護師、ヘルパー、薬剤師等のチームが24時間連絡可能な体制を整えて看取りの準備が十分に出来れば、ケアチームと家族の力で在宅での穏やかな看取りができます。末期になっても「生きたい！生きよう！」とされる気持ちを大事にして幸せな旅立ちをしていただけるように、介護保険のサービスと在宅ホスピスとの調整をさせて頂くのがケアマネの役目だと思っています。

中川 香代子

小規模多機能ホーム 萌の里

TEL33-3555



暦の上では春とはいえ寒い日が続いています。

去年の暮れの「クリスマス会」、「餅つき」は、お天気にも恵まれ地域の方も交えて楽しいひと時を過ごすことができました。

クリスマス会は近所の英会話教室の子どもさんたちがきて下さり「クリスマスソング」、「英語での自己紹介」など、少し恥ずかしがりながらも、元気いっぱいに発表しました。

利用者さんのお孫さんによる「手品」は、子どもさんたちに大人気でした。

手品ではタネを見破ろうと真剣だったり「わーっ」、「え～なんで？」と大きな歓声が聞かれました。職員の子どもさんによる「バレエ」は、「かわいいね」「今の子はスタイルがいいね」など、かわいらしい姿に自分のお孫さん、曾孫さんの姿と重ねておられました。

門田さんグループなつかしバンドによる演奏は、懐かしい歌にいっしょに口ずさんだりして聞き惚れていらっしゃいました。

「餅つき」は、「ペッタン」「よいしょ」「よいしょ」の掛け声が近所に響き渡り、とくに子どもさんの声が賑やかでした。

萌の里は今年の3月で2周年を迎え飛躍の年です。

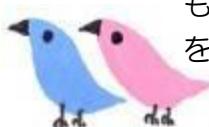
利用者さんも増え毎日賑やかです。「暖かくなったら、お弁当を持ってどこか行きたいねー」、「足湯もいいねー」「私は買い物に行きたいわ」…と話に花が咲きます。

まだまだ、寒い日が続きますがみなさま、風邪などひかれないようにご自愛下さい。

介護士 中川京子

2月1日から萌の里で勤務させて頂くようになりました。

以前は奈良市に住んでいて、昨年王寺町に転居したところで近所には知人も少なく、萌の里のアットホームな雰囲気の中、仕事させて頂くことを嬉しく思っています。



よろしくお願い致します。 (増田淳美)

サンサンサロン

TEL 50-7970

サロンでは1月29日新年会で総勢15名が田

原本の『豆仙坊』に行ってきました。

月・火・木のご利用者が一同に会して、楽しいひとときを過ごしました。いつもより少しだけおしゃれして、手作りのバッグやコサージュをつけての参加でした。送迎や日々のお手伝いをしてくださるボランティアさんのお陰もあって、今年になってまたお一人新しいご利用者が増え、地域の皆様の居場所としてサロンが少しでもお役に立っているのかなと思っています。

昨年暮れにはご利用者に当事業所の理念やサロンの意義をお話しして会員になっていただきました。

始めた当初は元気で来られていた方も、歳を重ねるごとに少しずつ機能が衰えていきますが、サロンに来ていただくことで少しでも機能低下予防になっているのだと思います。

デイサービス あかねの里

TEL 31-3536

デイサービスあかねの里では利用される方が、安心して、そして職員も一緒に楽しく過ごせるようにと思っております。 11月には、信貴生駒有料道路に紅葉を満喫しに出かけました。車中では、真っ赤な紅葉に歓声が上がっていました。

また、12月には恒例のクリスマス週間と、年末の餅つきがあり、クリスマス週間ではサンサンハウス本部職員の山岸によるラテンダンスショーで盛り上り、利用者さんの中には感極まって泣き出

す方も現れました。

餅つきでは、職員がつ
が慣れた手つきで丸めて
アオサ入り餅が出来上がりまし



いたアツアツの餅を利用の方々
くださいり、沢山のエビ入り餅や、

年明けの1月にはいつものように龍田大社へ初詣に出かけ、みなさんで今年1年の無事をお祈りし、その後お神酒を少しだけ頂きました。

今年一年も利用していただいている方々が「今日も楽しかったよ。」「また来るね。」という言葉を聞けるように職員一同がんばります。



たすけあいの会

TEL 32-3535

“お互いさま”的精神ではじめたたすけあいの会もまる3年半が経ちました。

今まで1時間につき100円を運営費に当て、足らない部分を赤い羽根共同募金の助成金で補ってきましたが、3年連続で頂いていました助成金も今年で終了になります。ご利用者には誠に申し訳ないですが、今回利用料の値上げを検討しています。決まり次第お知らせいたしますので、ご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。



たすけあいの会では、突発的な依頼にもできるだけ対応していきたく活動者の方を急募しています。
みなさんの持っている力を貸し下さい。

愛ちゃんと希望くん



高齢者の家「あかねの里」

TEL 31-3536

「新年明けましておめでとうございます」若い人には当たり前のことですが、あかねの里では、6人が揃って元気に新年を迎えられ何よりめでたいです。加湿器のおかげか、みなさんインフルエンザにもからず元気に過ごしていただいています。

誕生日が2月

1人、3月3人と集中しています。お誕生日のご希望のメニューをお聞きするとお赤飯、刺身、茶碗蒸し、天ぷら、うなぎ丼等…、お元気な証しです。



2月10日はA様の米寿の誕生日、3時にケーキでお祝いして、夕食はご希望の赤飯、刺身、野菜の含め煮、茶碗蒸し、デザートです。先日は、中国の旧正月休みを利用して帰国された息子さんご夫妻とお孫さんご夫妻、曾孫さんの5人があかねの里にいらっしゃいました。かわいい曾孫さんの訪問は何よりのプレゼントでした。



泰子

京子

愛されて
この世にあるをよろこべり

咲くとなく
冬に似合へるはしけやし花
枇杷の花穂の咲きのぼる

ヘルパーステーション

TEL32-3535

まだまだ寒い日が続きますが、訪問先では心暖まる時間を過ごさせていただいている。今回は新しい職員も含め、ヘルパー紹介をさせていただきます。



素敵な感性で作ってくれた短歌をいただきましたので、紹介します。

岸根洋子

1年余り訪問介護の仕事をさせていただいている。辛い所に手が届く様な、又、相手の立場に立ちほっとすることを叶えてあげられる、ゆとりのある介護をしたいといつも思っています。まだまだ未熟ですが勉強してより良い介護をしてゆきたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

島内サトコ

縁あって「あかねの里」で働かせていただくようになってから早や3ヶ月。利用者さんや職員さんとの「縁」を大切に励んでいきたいと思います。

三島佳代子

はじめまして。11月よりお世話になってます。利用者様のお役に立てるよう精一杯がんばりたいと思っておりますどうぞよろしくお願ひ致します。

中川 博

58歳です。銀行時代から数えて40年間、数字ばかりの世界から介護という未知の世界へ飛び込んでまいりました。12月からあかねの里で働いています。右も左もわからない素人ですがよろしくお願ひいたします。

岡本恵子

1953年生まれ。2人の子供は結婚して今は3人家族です。古布でミニ着物を作るのが好きです。時々、野山も散策します。1月からあかねの里で働いています。よろしくお願ひします。

短歌

車椅子日向に寄せてみるテレビ

福島 萬亀人

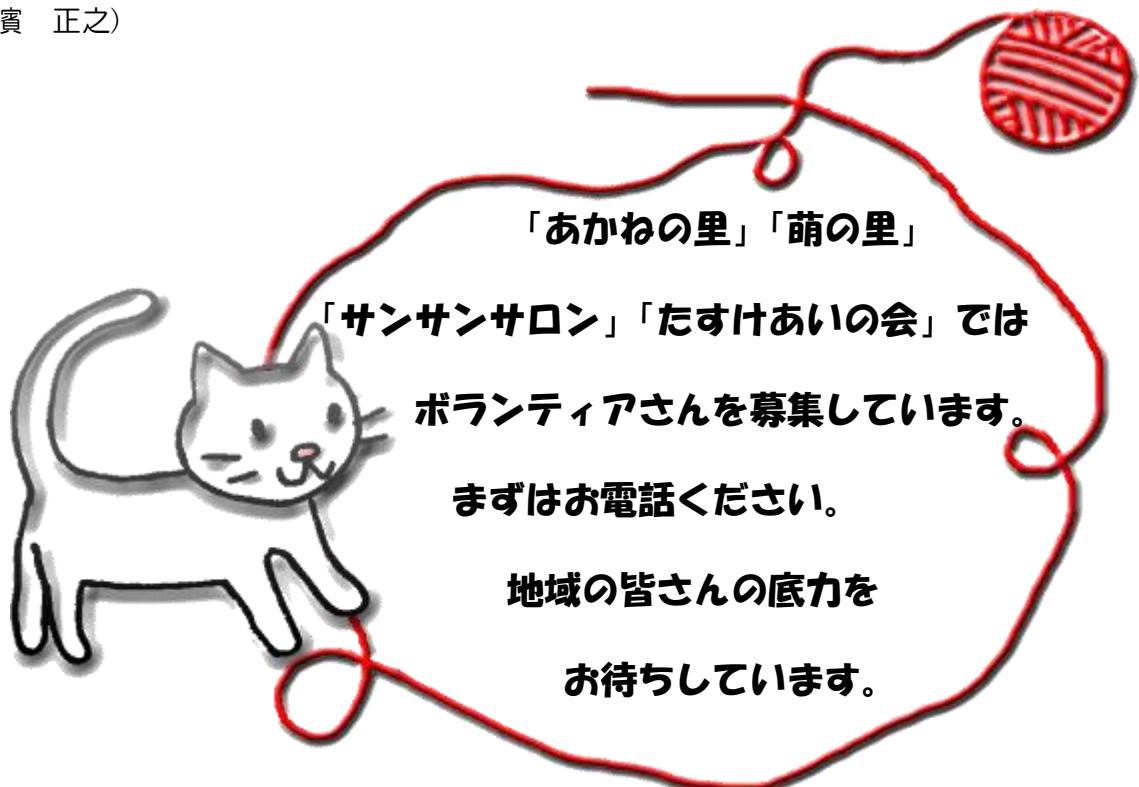
早春の窓辺明るく咲き競う
椿を友に語り合いつ

国会中継百歳の声



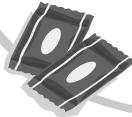
2月に入って、送迎の道すがらに咲く「花」がちらほらとみられる季節になりました。先日も、25号線を法隆寺近辺の信号待ちをした際「菜の花」を見つけ、利用者さんにそのことを申しますと「わあー、ホンマや～、まだまだ寒いけど春はすぐそこまで来ているんやネ～」と感慨深げでいらっしゃいました。また「寒いから、家にはかりいると体にカビが生えそうですねん」とも。健常者が何気なく行う外出も、様々な疾病を抱え移動が困難である利用者さんには、事前の準備を含めて大変なだけに、私たちの外出支援で「普通に」通院などに出られただけで、道端の「菜の花」にも心が躍るのかなと思いつつ利用者さんの心に寄り添った支援をしようと、今日も安全安心を乗せたサンサン福祉タクシーは走ります。

(濱 正之)



サンサンハウス5周年記念事業

お知らせコーナー



「サンサンまつり」を下記要領で
開催いたしますのでご家族・ご近所お誘い
合わせのうえお越し頂きますようお願ひ申
し上げます。

記

とき 平成21年3月29日 10時から15時

ところ 「あかねの里」(東信貴ヶ丘)と「萌の里」(三室)

なかも 介護相談コーナー、バザー、模擬店

(焼きソバ・おでん・お好み焼き・
ちらし寿司・おにぎり・ケーキ・
コーヒー・せんざい・ジュースほか)



映画鑑賞会は「萌の里」で10時から行います。



「明日の記憶」主演 渡辺 謙 橋口 可南子

メッセージ from 渡辺 謙さん

まだご覧いただけていない方に、お父様と一緒に、または
今は遠くにいるお父様を想って観ていただけたるととても嬉しい
映画です。(中略)必ず何かを伝えられると信じています。